

平成 25 年度 海水浴場の水質調査結果について

海水浴シーズンを前に、県民の健全なレクリエーションの場である海水浴場の水質調査を実施した結果を取りまとめましたので公表します。

○ 結果の概要

県内の海水浴場（18ヶ所）は、国が定めた水質判定基準によると、すべてが海水浴場としての水質に適合していました。また、腸管出血性大腸菌 0-157 の検査を併せて実施したところ、すべて不検出でした。

詳細は次ページのとおりです。

○ 調査海水浴場

番号	海水浴場名	所在市町村	番号	海水浴場名	所在市町村
1	磯原二ツ島	北茨城市	10	平磯	ひたちなか市
2	高萩	高萩市	11	姥の懐リソープル	ひたちなか市
3	伊師浜	日立市	12	大洗	大洗町
4	川尻	日立市	13	大洗サンプー	大洗町
5	会瀬	日立市	14	大竹海岸銚田	銚田市
6	河原子	日立市	15	下津	鹿嶋市
7	水木	日立市	16	平井	鹿嶋市
8	久慈浜	日立市	17	日川浜	神栖市
9	阿字ヶ浦	ひたちなか市	18	波崎	神栖市

【参 考】

- ・ 調査対象：県内の公設 18 海水浴場（「調査地点図」参照）
- ・ 調査期間：5月7日（火）～5月31日（金）
- ・ 調査実施機関：茨城県
- ・ 調査方法
概ね水深 1～1.5m の地点において、表層から 0.5m の海水を 1 日 2 回（午前及び午後）2 日間採水。腸管出血性大腸菌 0-157 については、1 回採水。
- ・ 調査項目
①ふん便性大腸菌群数 ②油膜の有無 ③化学的酸素要求量（COD） ④透明度
⑤水素イオン濃度（pH） ⑥腸管出血性大腸菌 0-157

表1 水質調査結果

番号	海水浴場名	所在市町村	水質				判定	腸管出血性大腸菌 O-157
			ふん便性大腸菌群数 (個/100mL)	油膜の有無	COD (mg/L)	透明度		
1	磯原二ツ島	北茨城市	2	無	2.0	全透	A	不検出
2	高萩	高萩市	不検出	無	2.1	全透	B	不検出
3	伊師浜	日立市	不検出	無	1.9	全透	AA	不検出
5	川尻	日立市	10	無	2.0	全透	A	不検出
5	会瀬	日立市	不検出	無	1.8	全透	AA	不検出
6	河原子	日立市	不検出	無	1.9	全透	AA	不検出
7	水木	日立市	不検出	無	2.0	全透	AA	不検出
8	久慈浜	日立市	不検出	無	1.8	全透	AA	不検出
9	阿字ヶ浦	ひたちなか市	不検出	無	2.0	全透	AA	不検出
10	平磯	ひたちなか市	不検出	無	2.3	全透	B	不検出
11	姥の懐 マリンプール	ひたちなか市	不検出	無	2.3	全透	B	不検出
12	大洗	大洗町	不検出	無	2.2	全透	B	不検出
13	大洗サンビーチ	大洗町	不検出	無	2.9	全透	B	不検出
14	大竹海岸 鉾田	鉾田市	不検出	無	2.4	全透	B	不検出
15	下津	鹿嶋市	3	無	2.0	全透	A	不検出
16	平井	鹿嶋市	不検出	無	1.9	全透	AA	不検出
17	日川浜	神栖市	不検出	無	2.0	全透	AA	不検出
18	波崎	神栖市	不検出	無	2.0	全透	AA	不検出

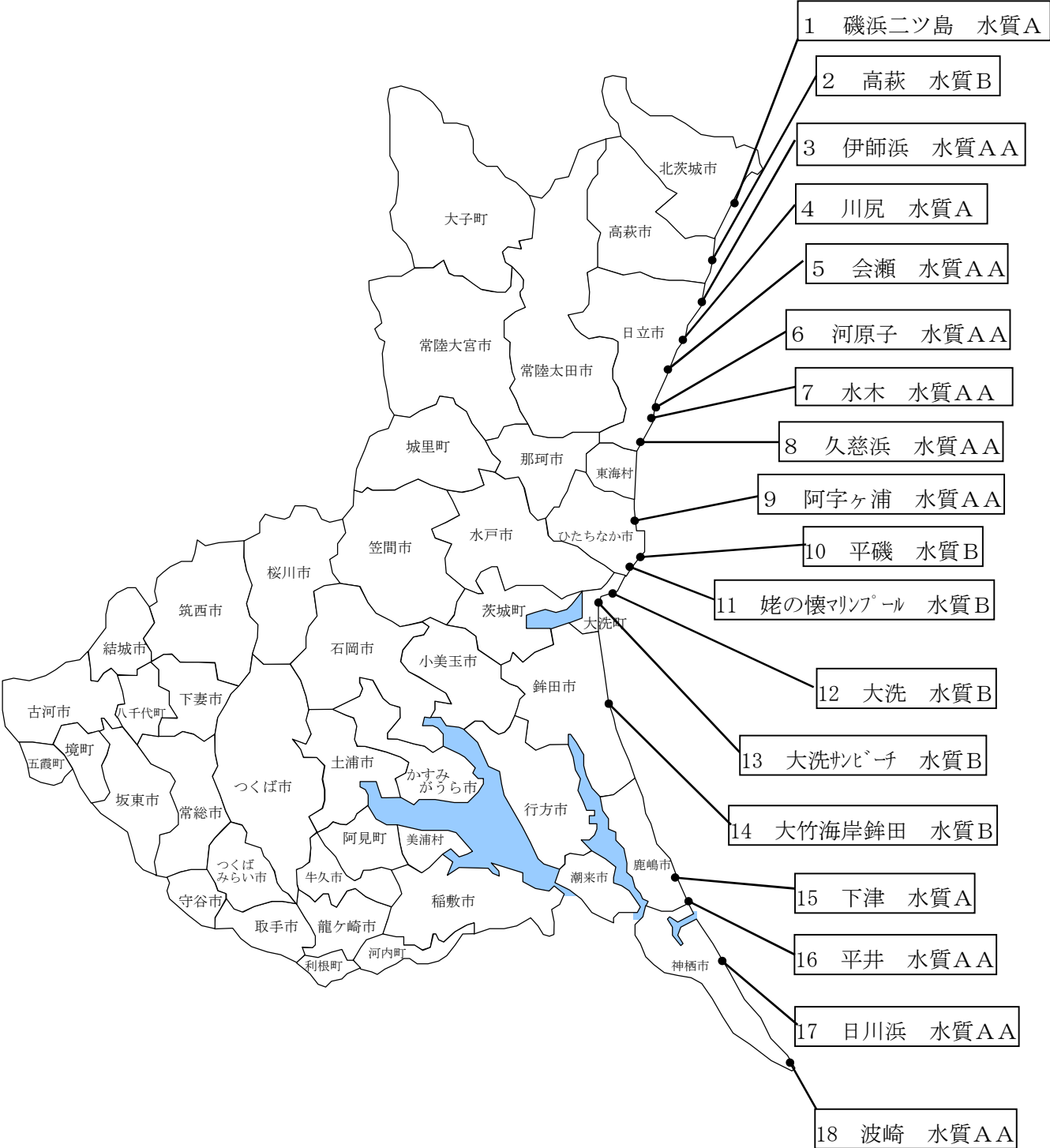
※ 腸管出血性大腸菌 O-157 とは病原性大腸菌の一つで、腸管性大腸炎（主な症状：下痢、血便、腹痛）を引き起こす毒性（ペロ毒素）をもつ大腸菌である。

表2 水質判定基準（環境省）

区分	ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	COD	透明度	
適	水質AA	不検出(検出下限 2 個/100mL)	油膜が認められない	2mg/L 以下	全透 (1m 以上)
	水質A	100 個/100mL 以下			
可	水質B	400 個/100mL 以下	常時は油膜が認められない	5mg/L 以下 8mg/L 以下	1m 未満 ~50cm 以上
	水質C	1,000 個/100mL			
不適	1,000 個/100mL を超えるもの	常時油膜が認められる	8mg/L 超	50cm 未満	

(注) 「水質AA」及び「水質A」であるものを「適」、 「水質B」及び「水質C」であるものを「可」とする。
 ・各項目のすべてが「水質AA」である水浴場を「水質AA」とする。
 ・各項目のすべてが「水質A」以上である水浴場を「水質A」とする。
 ・各項目のすべてが「水質B」以上である水浴場を「水質B」とする。
 ・これら以外のものを「水質C」とする。ただし、いずれかの項目が「不適」であるものは「不適」な水浴場とする。

調査地点図



凡例

番号	海水浴場名	水質
----	-------	----